

東大附属中等教育学校 東大探検のお手伝いを募集します！



<http://www.hs.p.u-tokyo.ac.jp/aboutus/facilities>

興味のある方は、下記メールアドレスに、「東大探検、お名前、学部・大学院、コース名、第〇回」とお申し込みください。後日、附属から連絡がきます。

第三回 2月10日 14時—15時15分 集合：A200（赤門総合研究棟）

協力学生募集人数：計6名まで（先着順）

内容：東大探検の補助、附属生の質問に答える、交流。

一人、最初に東大、東大生についての短いプレゼンをしてくださる学生も合わせて募集しております（先着順、6人に含む）。なさってもよい方は、申し込みの際におっしゃってください。

時間：14時—15時15分

謝金：1,864円

申し込み先：東大附属中等教育学校 jimu@hs.p.u-tokyo.ac.jp

（ご参考に 第一回目の概要）

A200番教室14時集合（東大生、附属生のグループの中に入って質問にこたえる、東大の学生一人による10—15分の東大についてのプレゼン）→赤門棟にある附属バリアフリー教育開発研究センター（星加先生をインタビュー）と学校教育高度化センター（高橋助教をインタビュー）→図書館西仮の校舎 研究科長室（研究科長インタビュー）、コース事務室で学部生の卒業論文を見る、研究室→東大生解散、附属生が自由に探検（総合学習入門→課題別→卒業研究）

東大附属の総合学習

（現東大理事・副学長、元教育学研究科長、元附属校長の南風原朝和先生の記事より）

東大附属の教育の中で双生児研究と並んで最も有名なものは「総合学習」だと思います…具体的には、1・2年生は「総合学習入門」、3・4年生は「課題別学習」、5・6年生は「卒業研究」という大きなテーマを設定して、系統的に総合学習が行われています。

例えば1年生は何をやるのかというと、まず「東大探検」が行われます。4人のグループになってテーマを決めて、東大を対象としたフィールドワークをやるんですね。それで本郷キャンパスに1年生全員が行って、あらかじめ決めたテーマで歩き回って調べて、調べたものは必ずプレゼンテーションをします。だから1年生、一般にいう中1から既に「テーマを決めて、調べて、プレゼンテーションする」という本格的なフィールドワークの流れがしっかりできています…3・4年生になると「課題別学習」という1年間単位の総合学習を行います…具体的には、例えば「農業に学ぶ」といって、週1回、田無にある東大農場に行き実際に農業を学ぶコース。それから「心とからだ」、これはこの名前からだと若干分かりにくいのですが、沖縄を取り上げて、歴史など様々な問題を学ぶことを通して自分の心と身体について考える、というような内容です…最後に、5・6年生になると、「卒業研究」が行われます…研究に当たっては、生徒120人に対して先生方40人全員で指導を担当します。だから大体生徒3人につき先生1人で、その中の3人が全然別のことをやる。個人の調査研究をやる、あるいは論文や作品をつくる、ということをするんですね。これは東大附属の伝統ともいえるもので、様々な賞をもらったり、大学の推薦入試でも評価されたりしています。

<http://www.ut-life.net/people/t.haebara/>